

「ひとりひとりの知恵を活かそう「青空コミュニティ」事業」の構想  
(よいやんせ・かたいもんそ・じゃったじゃった)  
安心して生活できる地域コミュニティづくりを目指して

保健福祉分科会（１－２班） 吉川、遠矢、中村、野久尾、濱田

私たちのグループは、誰にとっても生活の基盤となり、支え合いの基盤である地区コミュニティ協議会や自治会活動のありかたについて話し合う中で、地域で生活している人々が抱えている様々な悩みは多様化しているという現状が浮かび上がった。メンバーの住む地域は世帯数が少なく高齢化率も比較的高い地域で、自分自身がこれからどのようにこの地域で生活していきたいか、自分たちに何ができるかを頭に浮かべつつ、調査、研究のテーマを「安心して生活できる地域を目指して」にした。

○テーマについての現状として把握されたこと・・・○元気で生き生き生活している高齢者等がより元気に充実した生活が送れるよう地域活動への参画を進める環境づくりと支援が求められている。○高齢化率の高い地域が子育て世代にとっても住みやすくなるような地域コミュニティ活動へのニーズが潜在している。○地区コミュニティ協議会の活動が自治会における活動と対応しておらず、地域の人々の多様なニーズを捉えきれていない。○ひとり暮らしの高齢者の見守りや生活上の困難を抱えている人への支援の方法は、地区によって異なり多様なニーズが潜在している。○活動の重労働や回数の多さに、高齢化率の高い地区においては、若年者の負担が大きい等自治会のありかたに様々な課題がある。これらの現状から、私たちは、誰もが安心して生活するためには、地区コミュニティ協議会と自治会を中心とする地域コミュニティが果たす役割の重要性についての認識を深めることができた。

このような現状確認から誰もが安心して生活できる地域を目指していくためには、○高齢者・子育て世代等誰もが安心して生活できる支援と交流を促進する地域コミュニティづくりが必要であることを重点課題として抽出した。その背景には、現在、地域コミュニティ活動に私たち自身が関わる中で、○地区コミュニティや自治会で行われているいきいきサロンなどに参加している高齢者は元気で生き生きしているが、ひとり暮らし、閉じこもりなど社会参加を嫌がる人もいる。いきいきサロンの運営方法のマニュアル化が嫌な人もいる。高齢者が自信や誇りをもって参加できているか。○高齢者、子育て世代など地域の多様な人との交流する場や機会があまりない。○私たちの地域は、誰もが、困った時に「助けてほしい」と言えるコミュニティになっているか？○ひとり暮らしの高齢者の見守りや生活上の困難を抱えている人への支援や環境づくりをどのように行ったらいいかということについての地域での共通認識が不足している。等の思いがあり、これらの思いを踏まえた課題解決に向けて、この「青空コミュニティ」事業を考えた。「青空コミュニティ」とは、地域の多様な人との交流の積み重ねの中からさり気ない支援が生まれるような身近なコミュニティとしての場や機会のことであり、庭先や縁側、地域にある空きスペースや廃校等を利用して地域の中にたくさん創り出していきたいと考えている。「よいやんせ（集まって）かたいもんそ（おしゃべりして）じゃったじゃった（共感して）このような多様な人が集まる場や機会から、地域に住む人々が持ち得る技術や経験等ひとりひとりの知恵を活かした「助けたり助けられたり」のさり気ない支援の輪が広がることが期待される。

この構想の付加価値

- ひとり暮らしの高齢者が地域に出る機会が増える
- 話を聞いてもらえる、おしゃべりする相手ができることで「閉じこもり」による様々な問題の防止につながる
- 高齢者が頼りにされることで生きがいにつながり元気になる
- 子供と触れ合うことで生きるちからをもらえる
- 世代間の交流が盛んになり、地域ぐるみで子育てという意識が生まれる
- 若い世代がコミュニティに関心をもつようになり地域活動に参加するきっかけづくりとなる

この構想によって利害が及ぶ人

- 高齢者・子育て世代の人など地域に住むすべての人
- 閉じこもりがちな人
- ひとり暮らしの人
- いきいきサロンのような場が苦手な人
- 地域のために何かお役に立ちたいと思っている人でその機会がつかれない人

長期的(3～5年程度)経営計画

- 青空コミュニティ事業の定期的開催
- 得意分野を活かして販売し収益を上げる（活動資金の確保）
- いきいきサロンや地区の行事などでのおもてなしを行う

中期的（１～２年程度）経営計画

- お茶のみやおしゃべりからの情報をもとに得意分野の掘り起し（季節の料理・郷土料理・工芸等）
- 子育て世代と地域の交流

短期的(数ヶ月)経営計画

- 地区コミュニティ協議会や自治会に事業の説明
- 行ってみたくなる案内文や声掛け方法の検討（お茶をのみんそや～）
- 話を聞き興味や特技の掘り起し
- 縁側や庭先でのお茶のみの実施（空きスペースの確保）

実現のための制約要因

- 場所の確保（廃校・空きスペース）
- 資金調達

実現のための制約要因

- 場所の確保（庭先・縁側・空きスペース）
- 地区コミとの調整（行事・会場・人的・金銭）

獲得すべき経営資源

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 人的資源  | ○地元住民、地区コミュニティ協議会の支援、レクリエーション協会 |
| 物的資源  | ○空きスペース、庭先・縁側を借用、廃校する学校の利活用     |
| 財務的資源 | ○補助金の活用                         |
| 情報的資源 | ○地区コミ便り、市民活動情報サイト、FMさつまさんだい     |

そのために必要なネットワーク化

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 自らの組織・グループの補強・・・・・・・・・・       | 事業を実施する中で賛同者を広げていく。       |
| 他の組織やグループとの関係・・・・・・・・・・       | 地区コミュニティ協議会、レクリエーション協会等   |
| 特定の個人（特に専門能力を有する人）・・・         | 民生委員、健やか支援アドバイザー          |
| 対行政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 薩摩川内市コミュニティ課、男女共同参画係等関係部署 |